

建設生産現場における施工管理技術者教育に関する研究

このテーマのキーワード	ゼネコン、サブコン、工務店、施工管理技術者教育、1・2級建築／土木建築施工管理技士、1・2級建築士
関連するSDGs開発目標	        

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

建設業界では、初級・中級・上級それぞれの優秀な施工管理技術者が不足しており、早急に建設現場に多数配置することが望まれています。

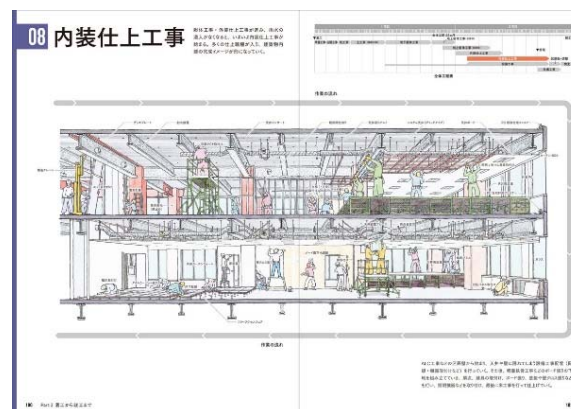
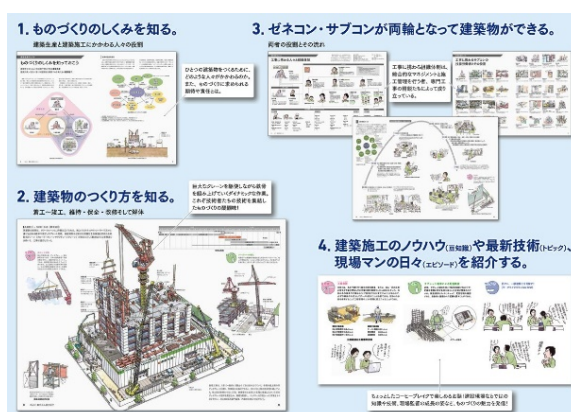
(概要)

各段階別の施工管理技術者を育成するために、わかりやすい教材を開発し、興味を持って建設技術を修得するための教育研究を行っています。

図1、2は、ものづくり大学三原研究室と(一社)日本建設業連合会の施工部会教材WGが共同開発したテキストの内容で、建築現場における生産技術をイラストと文章で示しています。

(期待される効果)

わかりづらい工事現場での各職種の仕事の内容がイラストと文章で理解しやすく、初～上級の施工管理技術の修得および応用・発展が可能です。



想定される適用分野・用途・業界

- ゼネコンや工務店およびサブコンの新入社員教育/中堅社員教育/上級管理者教育が可能。
- 技術系/事務系/営業系それぞれのタイプの教育が可能。

産業界へのアピールポイント

- 中堅/地方ゼネコン/工務店等における新入社員教育を短期間で実施できる。
- 中堅/地方ゼネコン/工務店等に対応した中堅/上級管理者教育をアレンジできる。

建設学科 三原 斉 教授

このテーマに関するお問合せ
E-mail : mric@iot.ac.jp

ものづくり研究情報センター
TEL : 048-564-3880

進化する技・深化する知
 **ものづくり大学**
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS